速報

第66回『小学館児童出版文化賞』が決定いたしました。

受賞作

『小やぎのかんむり』
市川朔久子（いちかわ・さくこ）／作　講談社／刊

『つちはんみょう』
舘野鴻（たての・ひろし）／作　偕成社／刊

小学館は本日、第66回『小学館児童出版文化賞』の最終選考会を行い、
受賞作を『小やぎのかんむり』（市川朔久子／作　講談社／刊）
『つちはんみょう』（舘野鴻／作　偕成社／刊）
の2作品に決定いたしました。

なお、贈賞式は、11月9日（木）午後5時30分より、如水会館（千代田区一ツ橋）にて挙行の予定です。正賞としてブロンズ像「わかば」（笹戸千津子作）、副賞として賞金100万円が授与されます。

第66回
小学館児童出版文化賞

受賞作

『小やぎのかんむり』

市川朔久子／作　講談社／刊

【概要】

中学三年生の夏芽は、家から逃げるためにサマーキャンプに参加する。行き先は山奥の古い寺。参加者は彼女ひとりきり。そこへ突然現れる、置きざりにされた幼い男の子。雑草を刈るために貸し出されたやぎと、檀家の孫の葉介も参加して、寺での一風変わった生活が始まる。人々の優しさに触れ、守ることと守られることを知る。夏の終わり、夏芽は再び一歩を踏みだす。その頭上に、失われた小さなかんむりを戴いて。

【プロフィール】

市川朔久子（いちかわ・さくこ）
1967年福岡県生まれ。西南学院大学文学部卒業。『よるの美容院』で第52回講談社児童文学新人賞受賞。同作でデビュー。著作に『紙コップのオリオン』『ABC! 曙第二中学校放送部』（第49回日本児童文学者協会新人賞、ホワイトレイブンス2015、第62回青少年読書感想文全国コンクール課題図書選出）がある。他に『YA! アンソロジー 約束』『YA! アンソロジー 14歳』などに作品を寄せている。

第66回
小学館児童出版文化賞

受賞作

『つちはんみょう』

舘野鴻／作　　**偕成社**／刊

【概要】

4000個の卵から生まれる体長1ミリにも満たないツチハンミョウの小さな幼虫たちは、寄生先となるハチの巣にたどりつくため、いろいろな虫にとりついていきます。わずか4日という寿命の中、種の存続を賭けた決死の旅をする幼虫たちの道程とその行方を、美しい細密画で力強く描きます。8年にも及ぶ調査の末、謎につつまれたツチハンミョウの生態の一部を明らかにした著者渾身の新作絵本。

【プロフィール】

舘野鴻（たての・ひろし）
1968年神奈川県横浜市生まれ。札幌学院大学中退。幼少時より熊田千佳慕氏に師事。1996年より生物調査の傍ら本格的に生物画の仕事を始め、図鑑や児童書の生物画、解剖図プレートなどを手がける。絵本に『しでむし』『ぎふちょう』『つちはんみょう』（偕成社）、『こまゆばち』（澤口たまみ・文）『なつのはやしのいいにおい』（福音館書店）、『宮沢賢治の鳥』（国松俊英・文／岩崎書店）などがある。

【第66回小学館児童出版文化賞 選考経過】

今回は、2016年4月から2017年3月までに発表された、絵本（創作絵本・写真絵本など）、童話・文学（フィクション・詩・シナリオなど）、その他（ノンフィクション・科学絵本・図鑑・事典など）の出版物（翻訳・キャラクター・コミックスなどは除く）で、幼年ならびに少年少女に推薦したい優れた作品を対象として、事務局内に予選委員会を設け、選考にあたってまいりました。

選考に先立って、審査委員・作家・画家・写真家・各出版社・新聞社・児童文化団体・図書館・書店児童図書担当者・読者からの推薦を募りました。それに事務局が収集した作品を加えて予備選考を行った結果、以下の作品が今年度の候補作となりました。

これらの作品を、審査委員の荒井良二、今森光彦、鈴木のりたけ、富安陽子、森絵都（50音順）の5名の先生方にご審査いただき、9月14日の最終選考会におきまして、受賞作を決定いたしました。

第66回 小学館児童出版文化賞 候補作品

ジャンル	作品名	作者名	発行所	発行年月
絵本	イルカと友達になれる海 大西洋バハマ国のドルフィン・サイト	越智隆治	小学館	2016年４月
読み物	銀杏堂	橘春香	偕成社	2016年12月
絵本	このあと どうしちゃおう	ヨシタケシンスケ	ブロンズ新社	2016年４月
読み物	小やぎのかんむり	市川朔久子	講談社	2016年４月
絵本	つちはんみょう	舘野鴻	偕成社	2016年４月
絵本	ネコヅメのよる	町田尚子	WAVE出版	2016年５月
絵本	はじめてのオーケストラ	佐渡裕／はたこうしろう	小学館	2016年11月
読み物	ひいな	いとうみく	小学館	2017年１月
読み物	フラダン	古内一絵	小峰書店	2016年９月
読み物	夜間中学へようこそ	山本悦子	岩崎書店	2016年５月
絵本	わくせいキャベジ動物図鑑	tupera tupera	アリス館	2016年11月

【小学館児童出版文化賞について】

「小学館児童出版文化賞」は、児童出版文化の向上に貢献すると認められる作品及び作家を毎年選定し顕彰するものです。

この賞は、1952年（昭和27年）に小学館の創業30周年を記念して、「小学館文学賞」「小学館絵画賞」として創設され、1996年（平成8年）から発展的に統合し改称いたしました。

未来を担う子どもたちのために、多くの優れた作品が出版されることを願います。この賞がそうした出版活動に少しでも寄与できればと考えます。